

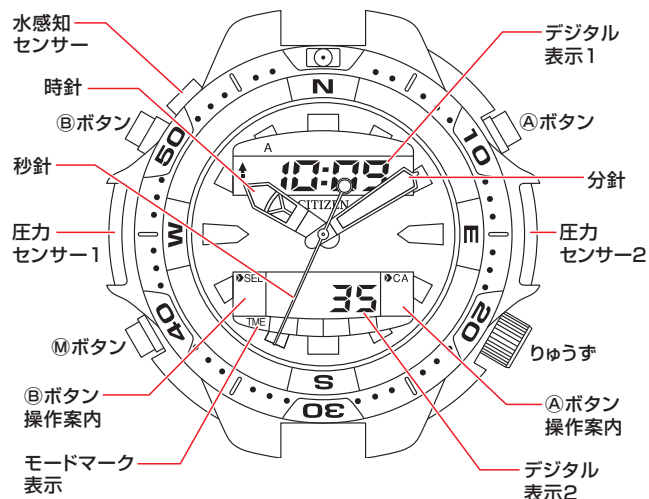
C900 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 C900取扱説明書

・この時計のデジタル表示は、「標準モード」「水深計測モード」「高度計測モード」の3つのモードに分かれています。

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) をご参照ください。
- ・ねじロックりゅうずの解除は、りゅうずが飛び出すまで左に回してください。
- ・操作後は、ねじロックりゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締めてください。

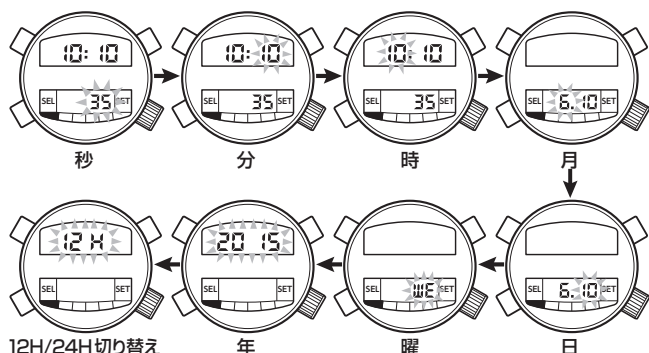
<<標準モードの使い方>>

時刻とカレンダーを合わせる

デジタル表示の時刻とカレンダーを合わせる

・デジタル表示の時刻は、アナログの時刻(時針/分針)と連動していません。

1. **M** ボタンをくり返し押しして、モードを「TME」にする
 - ・Aボタンを押すごとに、「秒」表示と、「日、曜」表示が切り替わります。
2. **B** ボタンを2秒間以上押し続ける
 - 「秒」が点滅して、設定できるようになります。
3. 時報に合わせて、**A** ボタンを押す
 - 30秒～59秒のときにAボタンを押すと、「分」が1分桁上げされます。
4. **B** ボタンをくり返し押しして、合わせる対象を選ぶ
 - ・Bボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. **A** ボタンを押して、合わせる

- ・Aボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
- ・修正中、Mボタンを押すと中断できます。
- ・修正途中で操作を行わないまま約3分間経過すると、自動で中断します。

6. 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる

7. **M** ボタンを押して、終了する

温度と気圧を表示する

- ・「TME」で、Aボタンを2秒間以上押すと、「気圧」と「温度」を3分間表示します。
- ・時計を腕につけた状態では体温の影響を受けます。
- ・「気圧」と「温度」の表示中に再度Aボタンを押すと、時刻・カレンダー表示に戻ります。
- ・毎正時に気圧測定を行い、前回の測定値と比較して上昇、下降を矢印マークで示します。

アナログの時刻を合わせる

・アナログの時刻(時針/分針)は、デジタル表示の時刻と連動していません。

1. りゅうずのネジをゆるめて、秒針が0秒を指しているときに、りゅうずを引く
 - 秒針が止まります。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
 - ・4～5分進めてから正しい時刻に戻すように合わせると、より正確に合わせられます。
3. 時報に合わせて、りゅうずを押し込む

アラームを使う

1. **M** ボタンをくり返し押しして、モードを「ALM」にする
2. **B** ボタンを2秒間以上押す
 - アラームの「時」が点滅します。
3. **A** ボタンを押して、「時」を設定する
 - ・午前と午後を間違えないように注意します。
4. **B** ボタンを押す
 - アラームの「分」が点滅します。
5. **A** ボタンを押して、「分」を設定する
6. **B** ボタンか**M** ボタンを押して、終了する

アラームのONとOFFを切り替える

「ALM」でAボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。

アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。

アラーム音を確認する

「ALM」でAボタンを押し続けると、アラーム音を確認することができます。

クロノグラフを使う

1/100 秒単位、最大24 時間まで計測できます。24 時間を超えると、0 時間0 分0 秒で停止します。

・クロノグラフ計測中は、他のモードへの切り替えはできません。

1. M ボタンをくり返し押しして、モードを「CHR」にする

スタート/ストップ：A ボタンを押します。

- ・計測中にB ボタンを押すと、経過時間（スプリットタイム）が10 秒間表示され、「SP」が点滅します。
- ・スプリットタイム表示中に再びB ボタンを押すと、次のスプリットタイム（スタートからの経過時間）が10 秒間表示されます。

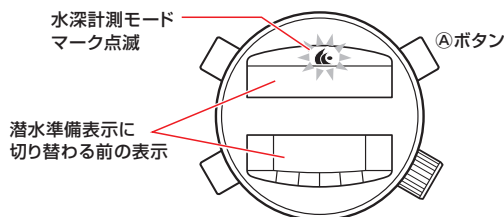
リセット：ストップ中に、B ボタンを押します。

<<水深計測モードの使い方>>

ダイブモードを使う

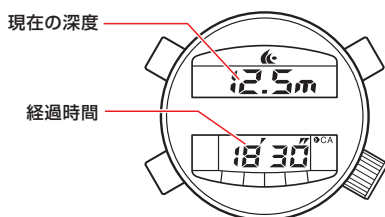
水感知センサーが水に濡れると、潜水準備表示に切り替わります。

1. 水深計測モードマークが点滅する



2. 潜水を開始する

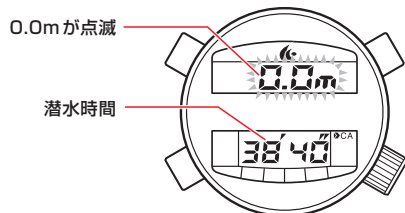
- ・水深 1m 以上になると、「水深計測表示」に切り替わります。



- ・水深計測中、A ボタンを押すと、ボタンを押している間だけ水温が表示されます。

3. 潜水を終了する

- ・水深 1m 未満になると、「水深計測後0m 表示」に切り替わります。



4. M ボタンを2 秒間以上押し続ける

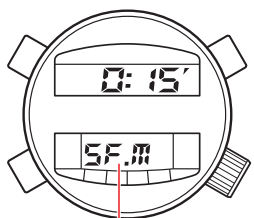
- ・サーフェースモード、または「TME」になります。
- ・M ボタンを押さなくても、10 分間以上操作を行わないと、自動でサーフェースモード、または「TME」に切り替わります。

サーフェースモードを使う

ダイブモードで、1m より深い潜水を連続で3 分間以上行った後、潜水を終了すると表示され、潜水終了時からの経過時間を23 時間59 分まで計測します。

- ・サーフェースモードでは、モード切り替え以外のボタン操作はできません。

- ・サーフェースモード作動中に、高度計測モードに切り替えると、「SF.ok」が10 秒間表示された後、高度計測モードに切り替わります。これは潜水後まもなく高所に移動すると減圧症などになる危険があるため、潜水後に十分な休息がとられたかどうかの確認を促すための表示です。



(SF.m: サーフェースモードの略)

ログメモモードを使う

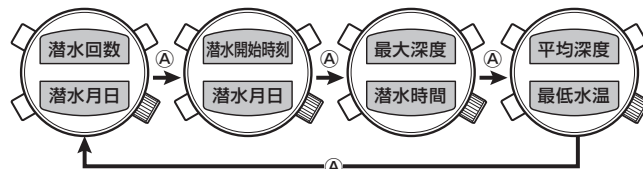
- ・最新の4 回分の潜水データが表示されます。
- ・新しく潜水すると、最も古いログデータが消去されます。必要なログデータはログブックなどにメモしておいてください。

1. M ボタンをくり返し押しして、モードを「D.log」にする

最新の潜水データの「潜水回数」と「潜水月日」が表示されます。

2. A ボタンを押す

- ・「潜水開始時刻」と「潜水月日」が表示されます。
- ・A ボタンを押すごとに、次のように表示項目が変わります。



- ・A ボタンを押さないと、約2 秒後に自動的に次の表示に切り替わります。

3. B ボタンを押す

- ・1 つ前の潜水データの「潜水回数」と「潜水月日」が表示されます。
- ・B ボタンを押すごとに、1 回ずつ古いログが表示されます。

4. 手順2 と3 をくり返して、潜水データを見る

- ・M ボタンを押すと、「TME」に切り替わります。
- ・3 分間以上操作を行わないと、「TME」に切り替わります。

ログデータの消去

A ボタンとB ボタンを同時に2 秒間以上押すと、確認音が鳴り、ログデータがすべて消去されます。

- ・ログデータを個別に消去することはできません。

ダイビングアラームモードを使う

アラーム音は、周囲の状況（気泡音など）や、携帯状況により聞こえにくい場合がありますので、アラームを使用する際はご注意ください。

1. M ボタンをくり返し押しして、モードを「D.AL」にする

2. B ボタンを2 秒間以上押し続ける

深度が点滅し、修正できるようになります。

3. A ボタンを押して、深度をセットする

- ・セットできる深度は、1m～80m です。
- ・A ボタンを押し続けると、表示が連続で変わります。

4. B ボタンを押す

鳴り回数が点滅して、修正できるようになります。

A ボタンを押すごとに、ON→OFF→1→2→3→4→5 と表示が変わります。

ON：セットした深度よりも深いところでは鳴り回数だけ1 分ごとに15 秒間アラームが鳴ります。

OFF：深度アラームは鳴りません。

- ・鳴り回数とは、1 回のダイビング中、セットした深度を超えたときに鳴らすアラームの回数です。鳴り回数を「1」にセットすると、1 回のダイビングで1 回だけアラームが鳴ります。

5. B ボタンを押す

潜水時間が点滅し、修正できるようになります。

6. A ボタンを押して、潜水時間をセットする

- ・潜水時間は、5 分～95 分まで5 分単位で、およびOFF（—）にセットできます。

- ・潜水時間をセットすると、ダイビング開始後セットした時間が経過すると、15 秒間アラームが鳴ります。

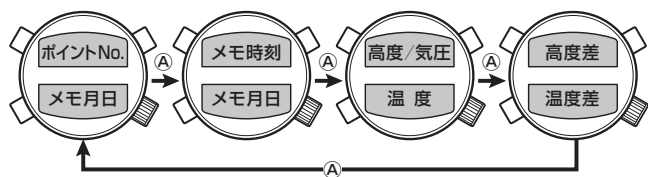
7. B またはM ボタンを押して、終了する

<<高度計測モードの使い方>>

高度メモモードを使う

- 高度計測中に記録した最大6ヶ所のポイントメモが表示されます。
- ポイントメモは6つ以上記録できません。
- 6つ記録した後、さらにポイントメモを記録したいときは、すべてのポイントメモを消去する必要があります。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを「A.log」にする
最新のポイントメモの「ポイントNo.」と「メモ月日」が表示されます。
2. **B** ボタンを押して、古いポイントメモ (No.1) から順番にポイントNo. を切り替える
3. **A** ボタンを押す
 - 「メモ時刻」と「メモ月日」が表示されます。
 - **A** ボタンを押すごとに、次のように表示項目が変わります。



- **A** ボタンを押さないと、約2秒後に自動的に次の表示に切り替わります。
- 高度「m」と気圧「hPa」は交互に表示されます。

4. **B** ボタンを押す
1つ前の高度メモの「ポイントNo.」と「メモ月日」が表示されます。
B ボタンを押すごとに、1回ずつ古いポイントメモが表示されます。
5. 手順2と3をくり返して、高度メモを見る
 - **M** ボタンを押すと、「TME」に切り替わります。
 - 3分間以上操作を行わないと、「TME」に切り替わります。

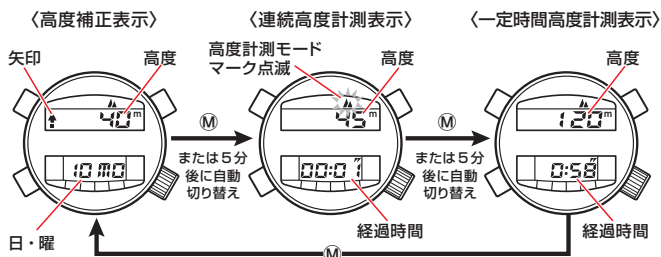
ポイントメモを消す

- A** ボタンと**B** ボタンを同時に2秒間以上押すと、確認音が鳴り、ポイントメモがすべて消去されます。
- ポイントメモを個別に消去することはできません。

高度計測モードを使う

表示を切り替える

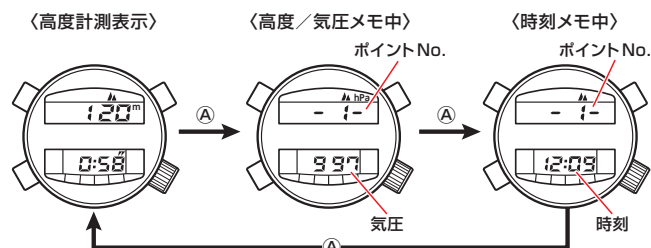
1. 標準モードの各モードで、**M** ボタンを2秒間以上押す
高度計測モードの「高度補正表示」に切り替わります。
2. **M** ボタンを押す
「連続高度計測表示」に切り替わります。
• **M** ボタンを押すごとに、表示が以下のように切り替わります。



3. 「連続高度計測表示」、または「一定時間高度計測表示」で、**A** ボタンを2秒間以上押す
確認音が鳴り、ボタンを押したときの高度、気圧、温度を記録し、ポイントNo. と気圧を約10秒間表示します。

4. **A** ボタンを押す

時刻が記録され、ポイントNo. と時刻を約10秒間表示します。

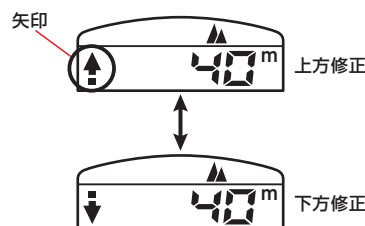


5. **A** ボタンを押して、終了する

「連続高度計測表示」、または「一定時間高度計測表示」に戻ります。
• ボタンを押さなくても、約10秒間経過すると、自動で「連続高度計測表示」、または「一定時間高度計測表示」に戻ります。

高度補正表示

1. 「高度補正表示」状態で、**B** ボタンを押して、補正方向を切り替える



2. **A** ボタンを押して、高度を修正する

ボタンを押すごとに5mずつ修正されます。
• **A** ボタンを押し続けると表示が連続で変わります。

3. **M** ボタンを押して、終了する

• ボタンを押さなくても、5分経過すると「連続高度計測表示」に切り替わり、高度計測を開始します。

補正值の消去

- **A** ボタンと**B** ボタンを同時に2秒間以上押すと、補正值が消去されます。
- 消去後、標準大気に基づいた相対高度を表示します。

連続高度計測表示

1秒ごとに連続して5分間、高度を計測し、表示します。

一定時間高度計測表示

高度計測開始後の経過時間の15分ごとに高度を計測し、表示します。

高度計測の終了

高度計測モードで**B** ボタンを2秒間以上押すと、標準モードに戻ります。

オールリセットを行う

- ログデータ、高度メモは消去されます。
- クロノグラフはリセットされます。

1. リゅうずを引き出す
2. **A**、**B**、**M** ボタンを同時に押す
3. リゅうずを押し込んで、終了する
 - 確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください